



# 雪椿 かわら版

## ＋飯山赤十字病院の基本理念

人道・博愛の赤十字精神に基づき、患者さん中心の地域に密着した医療を実践します。

### 《 病院の基本方針 》

1.患者さん一人一人を大切に、思いやりのある医療を行います。2.安全で質の高い医療を提供します。3.近隣の医療、保健、福祉施設との連携を推進します。4.高齢社会に即した在宅医療、予防医療に積極的に取り組みます。5.救急医療、災害救護、講習会等普及事業に積極的に取り組みます。6.明るく働きがいのある病院を目指します。

### 《 私たちは次に掲げる患者さんの権利を尊重します 》

1.人としての尊厳が守られる権利 2.プライバシーが守られる権利 3.安全で適切な医療を受ける権利 4.望まれる情報提供と、納得のいく説明を受ける権利 5.自分が受ける医療を選ぶ権利

### 《 患者さんへのお願い 》

1.適切な医療を受けるために、健康状態など詳しい情報をお知らせください。2.医療行為については、納得された上で医師や看護師等の治療方針にご協力ください。3.他の患者さんの治療に支障を与えないようご配慮をお願いします。

2021  
令和3年

# 106

4月号

- 発行／飯山赤十字病院  
飯山市飯山226-1  
電話0269-62-4195  
ホームページ  
<http://www.iiyama.jrc.or.jp/>
- 発行責任者／戸谷 浩久
- 印刷／(有)中央堂印刷社



“TANBO” reflection

特集  
P2

# 皮膚科 外来での注射治療薬



CONTENTS

- P4 追悼 石坂克彦 院長「お別れの会」
- P6 地域のお医者さん③ (鳥羽整形外科医院)
- P7 未知の感染症が与えるメンタルへの影響と対策／相談窓口・お知らせ
- P8 外来診療担当医表

# 特集

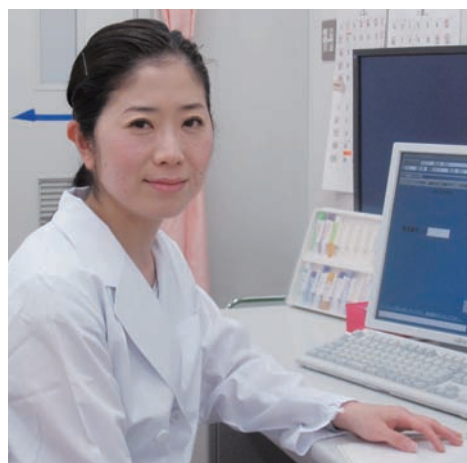
# 皮膚科外来での 注射治療薬

## 皮膚科



皮膚科医師 境澤 香里

皮膚科に受診して処方される薬は塗り薬をイメージする方が多いのではないのでしょうか。もちろん皮膚に直接つける塗り薬は皮膚科治療の基本です。かゆみを抑える内服薬もよく使用されます。さらに近年、皮膚疾患に処方できる注射製剤が開発され、今までなかなか健康な皮膚を保てなかった患者さんに使用されています。今回は3つの皮膚疾患とその注射治療について紹介します。



### 乾癬

乾癬は、様々な誘因により、皮膚の細胞の増殖や分化の異常が起こり、ガサガサとしたかさぶたのついた赤い皮疹が特に擦れやすいところに出現する疾患です。



日本では0.1～0.3%の有病率と言われています。たかが皮膚のガサガサと侮れず、関節の痛み・変形を伴ってしまう乾癬性関節炎や、

高熱と全身の皮膚に小さな膿疱が出現する膿疱性乾癬という病型もあります。また皮膚症状だけでも、「人目を気にして温泉に行けない」「うつらないかと心配される」(実際には人に感染することはありません)、など生活でストレスを感じる機会が多い疾患です。

治療は塗り薬が基本です。乾癬の皮膚の炎症には皮膚の免疫がかかわっており、免疫抑制剤の内服や、皮膚の免疫をコントロールするために紫外線治療も検討されます。乾癬に対して、最も新しい治療が生物学的製剤による治療で、注射治療はこちらにあたります。

外用治療や内服治療などでも皮膚症状が抑えられない場合や関節炎がある場合は注射の治療が選択肢になります。注射の治療は乾癬の治療の中で最も効果がありますが、費用も高額のため、高額療養費制度が適用されます。患者さんは自分で皮



下注射をする練習をして、3か月分の注射の処方を受け、自宅で定期的に注射を行います（2、3か月に1回病院で注射をする薬剤もあります）。

## アトピー性皮膚炎

アトピー性皮膚炎は、皮膚のバリア機能が低下する体質や、アレルギー体質（アトピー素因）が関係しているといわれています。アトピー性皮膚炎の皮膚では外からの異物の侵入を防ぐバリア機能が低下しているため、皮膚への刺激や炎症が起きやすく、炎症によるかゆみで皮膚を掻いてしまい、さらに炎症が悪化するという悪循環に陥ります。アトピー性皮膚炎と気管支喘息、アレルギー性鼻炎、食物アレルギーなど様々なアレルギー疾患を発症する方もいて、その状態をアレルギーマーチと呼びます。



治療は皮膚のバリア機能を補う治療（保湿）と炎症を抑える治療（抗炎症療法）が基本です。抗炎症療法ではステロイド外用薬などの塗り薬が重要ですが、外用だけでは効果が不十分な場合や全身に毎日外用するのが困難である場合は抗炎症効果のある内服薬（ステロイド内服薬や免疫抑制剤）が検討されます。さらにそれらの治療で十分な効果が得られない場合は注射薬での治療が検討されます。アトピー性皮膚炎に使用される新しい注射薬は皮膚の炎症を起こす物質の働きを直接抑え、かゆみや皮疹を改善させます。この注射薬も高額のため、高額療養費制度が適応されます。患者さんは数回分の注射薬の処方を受け、自宅で定期的に注射を行います。

## 慢性蕁麻疹

蕁麻疹とは、蚊に刺された直後のようなピンク

色の膨らんだ皮疹が出現してとてもかゆい皮膚疾患です。かきむしると皮疹がひどくなりますが、しばらくすると跡形も



なく消えてしまいます。アレルギーの印象が強いかと思いますが、6週間以上毎日続く慢性蕁麻疹はアレルギーが原因である場合はまれで、体質が関係しています。治療は抗アレルギー剤の内服が基本です。しかし色々内服薬を変更したり、追加しても一向に蕁麻疹が抑えられない患者さんがいます。原因不明の特発性蕁麻疹で皮疹が抑えられない患者さんには注射薬が検討されます。この薬は日本では2009年に喘息で使用可能となり、2017年に慢性蕁麻疹の治療薬として承認されました。2020年には季節性アレルギー性鼻炎（花粉症）でも使用可能となり、様々な患者さんに使用されています。蕁麻疹の治療では4週に1回、病院にて注射を受けていただき、3か月～6か月続けることが多いです。

### <皮膚科外来より>

皮膚疾患は患者さん自身が見て、感じて気付くことのできるものが多いです。上記の疾患以外にも気になることがあればご相談ください。当科は予約制ではないためお待たせすることも多いですが、近隣地域で唯一の皮膚科ですので広く皮膚疾患の患者さんを診察しています。



引用文献（写真）…清水 宏：あたらしい皮膚病診療アトラス

## 追悼 石坂克彦 院長

令和3年2月15日 満66歳にてご逝去されました。

### 経歴

生年月日 昭和29年(1954年)8月28日(66歳)

学歴 信州大学 医学部 医学科 昭和54年(1979年)3月卒業

学位 平成3年(1991年)9月17日取得(信州大学 博士医学)

学位論文 「幽門側胃亜全切除の下部食道括約筋圧に及ぼす影響に関する研究」

### 職歴

昭和54(1979)年6月 信州大学医学部医員(研修医)。第2外科学教室で研修。

昭和54(1979)年10月 健康保険岡谷塩嶺病院勤務。外科医師。

昭和55(1980)年4月 信州大学医学部医員(研修医)。第2外科学教室で研修。

昭和56(1981)年4月 市立甲府病院勤務。外科医師。

昭和57(1982)年4月 信州大学医学部医員。第2外科で消化器外科の診療・研究に従事。

昭和61(1986)年8月 信州大学医学部助手。第2外科で消化器外科の診療・研究・教育に従事。

昭和62(1987)年4月 飯山赤十字病院第2外科部長。主として消化器外科の診療に従事。

昭和63(1988)年4月 信州大学医学部助手。第2外科で消化器外科の診療・研究・教育に従事。

平成元(1989)年10月 飯山赤十字病院第1外科部長。主として消化器外科の診療に従事。

平成20(2008)年4月 飯山赤十字病院 副院長

平成30(2018)年4月 飯山赤十字病院 院長

石坂 克彦 院長は、平成元年10月1日付で日本赤十字社に入社し飯山赤十字病院勤務となりました。同時に第一外科部長として任命され、その後、呼吸器科部長も兼務しながら18年間診療科部長として活躍してきました。

平成20年4月に副院長に就任し、第一外科部や他の診療科部長ならびに、教育研修推進室長、医療安全推進室長も兼務し、当院の診療の現場において、その能力を遺憾なく発揮されました。さらには副院長として院長の業務を補佐し、診療部門のみならず病院全体に対しての貢献は多大でありました。

平成30年4月から院長に就任し、当院の最重要課題である医師確保に奔走するなど経営改善に尽力されました。また、新型コロナウイルス感染症対応においては、力強いリーダーシップで先頭に立って地域医療を守ってこられました。

石坂 克彦 院長 お疲れ様でした。ご冥福をお祈りいたします。





# 石坂克彦院長 お別れの会

本日ここに「石坂克彦院長のお別れの会」を執り行うにあたり、職員を代表して謹んで最後のご挨拶を申し上げます。

先生が長野赤十字病院を元気に退院され、これから院長として職場復帰されることを信じていた私共には、突然の訃報はまことに痛惜の極みであります。病院の大黒柱であり、多くの職員の精神的な支えであった院長を亡くした悲しみは耐え難いものであります。

先生は平成30年に院長に就任され、医師の確保を始め、地域からの信頼回復を念頭に置いて「断



らない医療」と「地域完結型の医療」の実践に精力的に取り組まれました。また、重要課題であった病院経営の再建にただならぬ、お力を費やされてきました。病院経営に明るい兆しが見えてきた時に国が進める地域医療構想推進の中で再検証を要する医療機関として公表され、統廃合の対象病院として名指しを受けるなか、先生は地域の特性を考慮した地域中核病院としての立場を貫く覚悟で飯山赤十字病院の重要性を各所で訴えていらっしゃいました。更に新型コロナウイルス感染症の対応では、先頭に立って地域の医療体制の確保に協力を惜しみませんでした。

先生が常日頃、言っておられた「患者と職員が満足できる病院を目指す。」この言葉を胸に職員一同、一丸となって前に進んでまいります。

どうか、紺碧の空の上から私たちの仕事ぶりを地域に貢献する医療の実践を温かい目で見守ってください。先生の笑い声が今でも聞こえてくる気がします。

いつまでたっても話がつきませんが、どうか安らかに眠りください。ここにお別れいたします。

令和3年2月22日

院長代理 若宮 一宏

先生の知らせを聞いたときは、頭の中が真っ白になりました。こんなに早く、突然別れの日がくるとは、とても信じられません。今でも、先生の声が聞こえてきそうな気がします。



先生と最初に仕事をさせていただいたのは、もう35年ぐらい前になります。私が大学の第二外科教室に入局して、消化器班で研修をしたときでした。先生は主に食道疾患の診療にあたっていました。

特に食道癌は手術時間が長く、術後管理も大変でしたが、先生は診療や研究に熱心に取り組んでいました。私が学会発表の際には、データ整理やスライド作成など、一から教えていただき大変助かりました。

飯山日赤に移ってからは、先生と30年近く一緒に仕事をさせていただきました。

先生のご指導のおかげで色々な手術を経験でき、外科医として成長できたと感謝しています。初めての手術や難易度の高い手術の時は、先生が助手でいると安心して手術することができました。

先生はお忙しい中、診療以外の多くのことを頼まれる機会がありましたが、いつも前向きに取り組んでいました。先生が引き受けてくれたおかげで、私は診療に集中することができたと思います。

普段、先生は弱音を吐くことはありませんが、何回か手術中に腰が痛いと言って顔をしかめることがありました。それでも閉創の直前まで手術に付き合ってくれました。先生は外科のトップとして、常に自分の入る手術に責任感をもっているのだと頭が下がる思いです。

石坂先生、名残はつきませんが、今まで大変ありがとうございました。どうぞ安らかに眠ってください。

令和3年2月22日

中村 学

地域医療連携

症状が安定したら  
かかりつけ医へ

開業医 ←

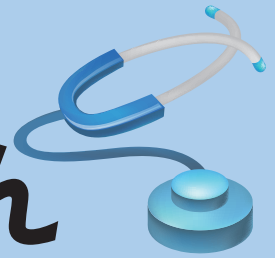


専門的な治療が必要  
になったら当院へ

→ 当院

地域の医療機関が協力し合う医療体制

# 地域のお医者さん



## 鳥羽整形外科医院

診療科：整形外科、リウマチ科、  
リハビリテーション科、麻酔科

〒389-2233 飯山市野坂田449-1

TEL 0269-81-3800

FAX 0269-81-3801

### ●はじめに

先日、道半ばでこの世を去った石坂院長先生へ。

当医師会では、理事のほか多数の委員の仕事をこなしていただき、また、私ども開業医と飯山日赤病院との懸け橋にもなっていたいただき、いつも、いやな顔一つ見せずに無理難題を請け負っていただきました。本当にお疲れ様でした。

しかしながらあまりにも突然で今は、ただただ残念で仕方がありません。

ここに石坂院長のご冥福とそして感謝の意を表したいと存じます。

また、私事ですが、開院当初から飯山日赤病院には、病診連携として助けていただき、また、MRIの依頼を快く引き受けていただき本当に感謝しております。今後ともよろしくお願いいたします。



院長 鳥羽 茂幸

### ●医師を目指した理由

私は、松代町出身の父と信濃町出身の母の長男として飯山市に出生しました。

この雪深い飯山の地にしかも縁もゆかりもない地域で整骨院を営んでいた無骨な父親の後ろ姿を見て育ちいつしか医師への道を目指した気がします。

### ●開業までの経緯と医院の特徴

東京の大学を卒業し直ぐに信州大学整形外科学教室に入局しました。医師になり1か月もしないときに父が59歳の若さで他界してしまいました。飯山に母親を残し私は長野県内の病院で研修を重ね、整形外科専門医、リウマチ科専門医、リハビリテーショ



ロビー 受付

ン科認定臨床医、麻酔科標榜医、そして脊椎脊髄病医の資格をとりました。

信大では脊椎班に所属しており、勤務医時代は、脊椎疾患を中心として仕事をしてまいりました。満を持して、2001年5月、生まれ故郷の地に新規開業を致しました。

当院は、骨折、捻挫等の外傷はもとより開院当初から骨密度測定器を導入し、骨粗しょう症の治療に力を入れております。また、頑固な腰痛、坐骨神経痛、肩こりに対しては、硬膜外ブロック、神経根ブロック等のブロック療法を施行しております。また、最新の治療器を導入し物理療法、運動療法も行っております。

関節リウマチ、痛風といった全身性の疾患も積極的に診ております。

### ●地域の方に一言

現代は、ストレス社会と言われております。肩こり、腰痛も原因不明なものが多々あります。痛みを我慢せず受診する事をお勧めします。鎮痛剤も最近では進化してきており、症状、患者さんの背景に応じた投薬もできます。次に、閉経を迎えた女性は特に骨密度の測定をお勧めします。骨折してからでは遅いです。骨折予防として骨粗しょう症の治療も大切です。最後に、患者さんに満足のいく最新の医療をお届けできるよう日々研鑽を重ねてまいる所存です。どうぞよろしくお願いいたします。



リハビリ室



診療時間のご案内	
診療科目	整形外科・リウマチ科 リハビリテーション科・麻酔科
診療時間	月・火・水・金 午前8:30~12:30 午後2:30~6:30 木・土8:30~13:00まで
休診日	日曜日・祝祭日・第2土曜日

※受付時間は上記診療時間の30分前、それ以降の受付はご遠慮ください。



# 未知の感染症が与えるメンタルへの影響と対策

保健師 梅崎 百合恵

これまでに経験のない感染症が流行すると、見えないこと、治療法が確立されていないことで、右にあるような「不安や恐れ」を強く感じます。それは周りの誰しもが感じていることです。

不安やストレスを解消することとして、したこと・していることを調査された結果を下記に紹介します。

- ①手洗いやマスク着用等の予防行動
  - ②スマートフォンやインターネットを使って情報を検索
  - ③家族や友人に話をする
  - ④家族や友人以外の身近な人（会社の上司や学校の先生など）に相談
  - ⑤匿名の相談窓口（電話相談やSNS相談等）に相談
  - ⑥行政の相談窓口を利用
  - ⑦医療機関などの専門家に相談
  - ⑧運動などで体を動かす
- そのほかに・・・
- 運動ストレッチ ○呼吸法ヨガ
  - 生活リズムを整える
  - 友人や家族と話をする
  - 今の気持ちを書いてみる
  - 音楽を聴く ○笑う 等々



ちょっとお話を聞いてもらいたい、気になることがあるので専門の方に相談したいことがある、そんなときは気軽に相談窓口にご相談しましょう。

(厚生労働省 HP より)

## 相談窓口一覧

心の悩みにおける相談窓口一覧（厚生労働省）

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000643326.pdf>

まもろうよ ころろ（厚生労働省）

<https://www.mhlw.go.jp/mamorouyokokoro/>

支援情報検索サイト（厚生労働省）

<https://shienjoho.go.jp/>



## 患者さん相談窓口通信

「患者さん相談窓口」では、受診に対する相談をはじめ、様々なご意見・ご要望をお伺いし、その対応や改善に病院全体で取り組んでおります。

面会禁止が続いておりご不便をおかけしておりますが、入院費のお支払いについては以下のように対応しておりますのでよろしくお願いいたします。



入院費のご請求は、月初めの1回（9日頃）または退院時です。請求書を病室へお届けしますので、請求書をお持ちのうえ、1階受付「会計窓口」でお支払いをお願いします。

なお、「面会禁止」の期間等、請求書をお持ちでない場合でも、お支払いは可能です。会計窓口にお声がけください。

また、入院請求書を郵送で受け取りたい方は、「初めて来られた方」の窓口にお申し出ください。

## 4月から次の診療科が充実します



●消化器科に新たに2名の医師が赴任します。

●整形外科に新たに1名の医師が赴任し2名体制となります。

●脳神経外科に新たに1名の医師が赴任します。



## 飯山赤十字病院 外来診療担当医表 (令和3年4月1日現在)

診療科	備考	月	火	水	木	金	
救急科	午前 8:30~13:00	常勤医師	藤本 和法	藤本 和法 (~13:30)	藤本 和法	藤本 和法	
	午後 13:00~17:15	藤本 和法	藤本 和法	関口 智裕 (13:30~)	藤本 和法	飯島 靖博	
総合診療科	8:30~13:00	大道 雅英	富田 俊明	大道 雅英 (~13:30)	常勤医師	大道 雅英	
発熱外来	8:30~15:00	飯島 靖博	熊部 智章	富田 俊明	熊部 智章	熊部 智章	
内科	紹介・内科健診異常	福島 靖典	渡邊 貴之	友兼 正太郎	齋藤 俊信	齋藤 俊信 友兼 正太郎	
	再診	齋藤 俊信	齋藤 俊信	福島 靖典	山谷 秀喜	齋藤 俊信	
		富田 俊明	福島 靖典	山谷 秀喜	富田 俊明		
	糖尿病					長澤 武志	
頭痛外来 初診受付 13:30~14:30 再診 14:00~16:00					飛永 雅信		
循環器科		齋藤 俊信	齋藤 俊信	齋藤 俊信	伊澤 淳	齋藤 俊信	
消化器科	外来 午前 8:30~12:00 午後 12:00~17:15	初診	齋藤 俊信	渡邊 貴之	友兼 正太郎	齋藤 俊信	友兼 正太郎
		再診		渡邊 貴之	友兼 正太郎		友兼 正太郎
	内視鏡 午前 9:00~11:30 午後 13:30~16:30	上部内視鏡	友兼 正太郎 北信病院医師	竹中 一弘 林 伸彦 (友兼 正太郎)	渡邊 貴之 平川 祐希	渡邊 貴之 友兼 正太郎	山田 重徳 花岡 辰行 (渡邊 貴之)
		下部内視鏡 内視鏡治療 透視検査・治療	渡邊 貴之 友兼 正太郎	友兼 正太郎 (渡邊 貴之)	渡邊 貴之 平川 祐希	渡邊 貴之 (友兼 正太郎)	友兼 正太郎 山田 重徳
呼吸器科		熊部 智章		熊部 智章		安尾 将法 (受付11:00まで)	
心療内科 精神科	予約制	飛永 雅信	飛永 雅信 (午前・初診のみ)		飛永 雅信	飛永 雅信	
脳神経内科			金子 清俊 (予約制)		浦部 博志 (受付時間11:00~) (初診は12:00)		
脳神経外科			兒玉 邦彦	坂入 光彦		原田 博 (9:30~)	
小児科	木曜日は交替制	神田 仁	神田 仁		(神田 仁) (渡邊 直樹)	神田 仁	
外科		柴田 均 中村 学	柴田 均 飯島 靖博	中村 学	柴田 均 飯島 靖博	飯島 靖博	
	内分泌(乳腺・甲状腺) 金曜日は交替制	前野 一真 (第2・4週のみ)				(伊藤 研一) (清水 忠史)	
整形外科		若宮 一宏 関 英子	若宮 一宏 中西 芳応	中西 芳応 鈴木 賀代	若宮 一宏 (再診のみ)	中西 芳応 安田 剛敏	
皮膚科		境澤 香里	境澤 香里	境澤 香里		境澤 香里	
泌尿器科		信州大学医師		非常勤医師 (紹介のみ)			
産婦人科			高野 宏太	今井 宗	倉石 美紗子	坂本 人一	
眼科		長谷川 敦俊	長谷川 敦俊	長谷川 敦俊	長谷川 敦俊	長谷川 敦俊	
		中村 恵子	中村 恵子	中村 恵子	中村 恵子	中村 恵子	
耳鼻咽喉科	受付時間 13:00~16:00 診療開始 13:30		信州大学医師			信州大学医師	

◆住所 〒389-2295 長野県飯山市大字飯山226番地1 TEL:0269-62-4195(代) ◆休診日 土曜日、日曜日、祝日、5月1日(日本赤十字社創立記念日)、12月29日から1月3日  
◆受付 8時30分から11時30分(救急外来は24時間) URL <http://www.iiyama.jrc.or.jp/>